

日野町教育振興基本計画 No. 2

【問合せ先】町教育委員会
TEL 72-2107

シリーズ2回目は、同計画が目指す目標の1つ「地域に根ざした生きがいつくり」について紹介します。

目標1：地域に根ざした生きがいつくり ～生涯学習の推進による自己実現と地域の自立推進～

①社会全体での学習環境整備 ②生涯学習の推進 ③人権・同和教育の推進

<取組方策1-1 社会全体での学習環境整備>

(1) 社会全体で取り組む教育の推進

- 「家庭の日」等の展開 ○「日野町土曜学習」の展開 ○青少年育成会事業の充実

(3) 指導者の育成と指導力の向上

- 各種研修会の情報提供 ○保護者会、PTA 主催研修会の支援

(2) 家庭教育の充実

- 自他の生命を尊重する心の育成 ○基本的生活習慣の確立 ○家庭学習の習慣化 ○メディアとの適切な関わり方についての啓発

<取組方策1-2 生涯学習の推進>

(1) 生涯学習推進体制の充実

- 各種連絡会議等の開催 ○日野町生涯学習カレンダーの発行

(2) 地域に根ざした自主活動の推進

- 公民館学習講座の充実 ○おしどり学園の開催 ○ボランティア活動、自然体験活動等の推進 ○各種団体の活動支援

<取組方策1-3 人権・同和教育の推進>

(1) 日野町人権・同和教育基本方針の策定

(「基本方針」平成30年度末策定予定)

(3) 人権啓発推進員養成講座の開催

- 小地域座談会等人権学習推進者養成講座の開催

(2) 啓発事業等の実施

- 日野町人権・同和教育推進協議会事業の推進 ○調査研究事業の実施

(4) 隣保館・集会所事業の展開

- 日野町解放文化祭の開催 ○部落解放標語・人権尊重標語の募集 ○榎の実学習会の実施 ○交流事業の実施 ○学習講座の充実

教育委員会からのお知らせ

6月6日に第8回教育委員会、総合教育会議を開き、次の案件などについて協議されました。

【第7回教育委員会】

▶報告

- ・第39回中国山地日野鶴の池マラソン大会の参加人数等状況について
- ・保小中一貫教育推進委員会（平成28年度事業計画等）について
- ・各小中学校参観日の案内、「命の授業」実施報告について

▶議事

- ・平成28年度日野町一般会計補正予算の提出について提案され承認されました。

- ・（小学生理科教育パワーアップ事業、幼保小連携推進モデル事業ほか経費）
- ▶協議
- ・「平成27年度教育行政の点検及び評価」について《次回の予定》
- 日時：7月5日（火）午後1時30分
- 場所：役場会議室
- ※会議は公開しています。お気軽にお出かけください。
- 【総合教育会議】
- ・各小中学校長も参加し、平成28年度の各学校の基本目標の報告に基づき、意見交換が行われました。

平成28年度事業計画などを決定

日野町人権・同和教育推進協議会 総会

日野町人権・同和教育推進協議会広報紙

人権のまち ひの 2016年6月

4月28日、山村開発センターを会場に自治会長の皆さんや各種組織、関係団体の代表者など会員58人が出席し、町人権・同和教育推進協議会の平成28年度総会を開きました。

はじめに、同協議会長の景山享弘町長が「この協議会は長い歴史があり、皆さんの協力の下、人を大切にする町にしていこうと思います。隣近所で助け合い、声を掛け合っていくことが重要です。そのため協議会では、事業の大きな柱として『小地域座談

会』の全自治会での開催をお願いしています」とあいさつ。また、「都市部では、学校に行きたくても行けない子が増えている、自然豊かな日野町で子どもを預かってもらえないかとの相談も受けることがある。これが今日の日本の実態です。今年度もご協力をお願いします」と呼びかけました。

議事を審議し、決算・事業計画などの承認を行いました。

● 決算、事業計画・予算案を承認

主な内容は次のとおりです。

【27年度事業実績】

- ・町人権啓発および第40回人権・同和教育研究集会は10月2日開催、134人が参加
- ・小地域座談会は44自治会で開催、431人が参加
- ・町民人権講座は4回開催、226人が参加
- ・鳥取県研究集会や全国大会などへの参加、広報紙「人権のまち ひの」の発行、啓発活動など

【27年度決算】

- ・収入総額 400,444 円（町補助金 400,000 円ほか）
- ・支出総額 400,263 円
（部会の研修費ほか 36,636 円、町人権・同和教育研究集会の開催、県研究集会や全国大会参加費 314,184 円、事務費その他 49,443 円）

【28年度推進目標】

鳥取県人権施策基本方針に則し、『高齢化社会の人権尊重の地域づくりの研究成果』を暮らしの中で具体的な人権課題の追究と解決への研究を深め、普遍的な人権意識の形成へとつなぎ、次代の人権文化社会の創造を目指して教育・啓発を推進する。

- （重点施策） ①人権・同和教育研究集会の開催 ②小地域座談会の開催および推進者の養成
③部会研修の充実 ④人権講座の開催

【28年度事業計画】

- ・町人権啓発講演会および第41回人権・同和教育研究集会（10月上旬予定）
- ・小地域座談会の開催（全自治会）および推進者養成講座の開催（2回）
- ・町民人権講座の開催（4回）
- ・鳥取県研究集会ほか町外研修会などへの参加
- ・啓発紙『人権のまち ひの』の発行
- ・各部会研修の実施

【28年度予算】

- ・収入総額 355,200 円（町補助金ほか）
- ・支出総額 350,200 円
総会役員会費 3,000 円（総会・役員会資料作成）
部会費 53,000 円（各部会研修講師謝金ほか）
啓発研修費 238,000 円
（町研究集会講師謝金、各種研修会参加費ほか）
事務費ほか 56,200 円
（県人権教育推進協議会負担金、通信運搬費ほか）

【その他】

協議会運営規定の一部を変更。4月1日の役場の機構改革により、規程の中の課名を変更する。

第1回町民人権講座 開催『里親制度をご存知ですか？』

総会後、里親支援とっとり 里親委託等推進員の秋口美智子さんを講師に招き、講演を行いました。また、ファミリーホーム・マザーズパーム代表の小原幸恵さんが「里親体験談」を紹介しました。

秋口さんがまず里親制度の説明を行った後、実際に親代わりとして子どもを受け入れた経験のある小原さんが、家庭養護施設の運営に至った経緯や子どもたちとの生活の中での喜怒哀楽を情感を込めて話しました。

出席者は、小原さんのまさに人生をかけた取り組みに感嘆の声を上げていました。



▲ 体験談を熱心に語る小原さん